

村山市長、津波災害予測の見直し表明

村山市長は8月30日、総合防災訓練のメイン会場となった名立区で、県と国で津波の予想値が違った問題に言及、市の計画を見直すことを明らかにしました。

上越市は先月の中旬、市内の全世帯に津波洪水ハザードマップ（災害予測地図）を配布しました。これは県が発表した数値に基づいて作成したもので、市内の予測数値は最大で5・2メートルでした。ところが先日、国土交通省の「日本海側の大規模地震に関する政府の有識者検討会」が予測数値を明らかにしたところ、その数値は県の予測を大きく上回り、最大で9・1メートルにもなっていました。言うまでもなく、最大予測数値がどうなるかによって浸水区域も避難計画も違ってきます。市は今

後、どうするか対応を迫られています。市は、今後、県の動きを見ながら見直し作業を進めることとなるでしょうが、上越市民の安全、安心のために全力を尽くしてほしいものです。

さて総合防災訓練です。当日、私は他の市議とともに名立区に視察に行ってきました。

そこでは、地震に伴い大津波が発生したという想定のもと、要支援者の避難訓練、建物に孤立した人の救出訓練、倒壊した家屋の下敷きになって怪我をした人の救出訓練、炊き出し訓練などが行われました。

私が注目した訓練のひとつは要支援者を対象にした訓練です。この訓練では早い人で1分、遅い人で17分かかったといっています。私が

見せてもらった要支援者の人の場合は2分でした。訓練は大事ですね。写真は近くの神社に避難した新井町内会の人たちです。

9月議会が始まりました

9月定例市議会が3日から始まっています。今議会の中心は昨年度の決算審査です。このほか、談合疑惑、ユメ余剰問題、原発再稼働問題など重要問題がいくつもあります。



【ヤブツルアズキ】マメ科の1年草。漢字で「藪蔓小豆」と書きます。8月から10月にかけて黄色い蝶形の花をつけます。下方の二花弁はねじれた感じになっています。花言葉は「へそ曲がり」だとか。



9月議会の日程（会議開始時間はいずれも10時）

月 日	会議	会議室	備考
9月 3日（水）	本会議	議場	提案理由説明、総括質疑
9月 4日（木）	本会議	議場	総括質疑
9月 5日（金）	建設企業委員会	第1委員会室	委員会審査
9月 8日（月）	建設企業委員会	第1委員会室	委員会審査
9月 9日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	委員会審査
9月10日（水）	文教経済委員会	第1委員会室	委員会審査
9月11日（木）	厚生委員会	第1委員会室	委員会審査（橋爪所属）
9月12日（金）	厚生委員会	第1委員会室	委員会審査（橋爪所属）
9月16日（火）	総務委員会	第1委員会室	委員会審査
9月17日（水）	総務委員会	第1委員会室	委員会審査
9月18日（木）	委員会審査予備日		
9月19日（金）	本会議	議場	一般質問
9月22日（月）	本会議	議場	一般質問
9月24日（水）	本会議	議場	一般質問
9月25日（木）	本会議	議場	一般質問
9月29日（月）	本会議	議場	議案採決

はしづめ法一の
活動レポート

No.1673 2014.9.7
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hoset.jp/

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三二一回 愛の記念像

旧松代町の旧勘平（あざみひら）小学校のグラウンドに「愛の祈念像」というものがあることをご存じでしょうか。縦二横一ほどの四角い建造物で、いまから二四年前の三月、グラウンド南側の土手の近くに建てられたものです。

「愛の祈念像」には、「愛」という文字が一番上の左側に配置され、中央部には子ブタにおっぱいを飲ませているお母さんブタとその周りでお母さんブタのお腹やおっぱいに触っている六人の児童が描かれたものが配置されていました。たぶん、お産が終わってまもないときの様子を表現したかったのでしょう。私の眼には、子どもたちが「がんばったね」とお母さんブタをほめ、励ましているように見えました。

像を制作したのは真治君、知美さん、陽子さんなど六人の児童と全校職員。設置したのは同校のPTAのみなさんでした。像の題字は当時の関谷教育長が書かれ、像の下の方には「思いやりの心育てと、平成二年度修了を記念してこれを建てる」とあります。

私がこの像があることを知ったのは今年の四月九日、初めて旧勘平小学校を訪ねた時でした。三月末に高田世界館でドキュメンタリー映画、「夢は牛のお医者さん」を観たばかりだったものですから、「これが映画に出てきた校舎か」と思いながら、建物を見上げました。校舎だった建物の写真を何枚か撮り終わって、雪の残ったグラウンドを歩きはじめたときにこの像に気づきました。私の背丈を越える大きな像だったからです。

像を見た私の脳裏には映画に出てきた場面が次々と浮かんできました。父ちゃんたちがマイクロバスやトラックに乗り、出稼ぎに出ていく場面がありましたね。グラウンドからはその道が見え、みんなが手を振って別れる場面が浮かびました。入学児童がいないというところで、学校に仔牛を導入し、子どもたちが仔牛を飼い、三〇〇キロほどの体重になるまで育てる。大きくなったところで牛の卒業式を校舎内で行い、みんなが涙を流した場面もありました。牛の後には豚も飼いましたが、牛もブタも同じようにトラックに乗せて別れる場面がありました。いずれの場面でも子どもたちだけでなく、いつもPTAや地域の人たちの姿が写っていました。それらがみんな浮かんできたのです。

グラウンドから離れる前に私は自動シャッターで祈念写真を撮りました。もちろん、この像のそばです。私はドキュメンタリー映画には出てこなかった素敵なものを見つけたという気分になりましたが、その後はブログでこの写真を使ったものの、「愛の祈念像」のことは頭から離れていました。

八月の下旬、大島区で「夢は牛のお医者さん」の映写会がありました。総合事務所のWさんに誘われ夜の部に参加しました。この映画を観るのは二度目です。会場となった大島地区公民館には五〇人ほどの人たちが集まりました。私の近くには、日本一のトコロテンを売っているお店の若夫婦と子どもさん、板山のKさん夫婦とお孫さんなど子ども連れが何組もありました。この日は昼間の部で、区内の小中学生全員がこの映画を鑑賞したと聞きましたので、もう一度観たいと思った子どもが何人もいたんでしようね。

映画を再び見たことで、四月に出合った「愛の祈念像」のことを思い出し、なぜあの祈念像をつくることになったのかが私なりに理解できました。確かに、映画は牛のお医者さんになりたいたいという夢を追い、実現する知美さんのことが中心になっています。でも、彼女が夢を持ち、実現できたのは本人の努力ともうひとつあるように思うのです。すべての子どもたちが自らの希望を見出し、やさしい心を持つことができるよう、学校も地域もひとつになつていくことです。来月、もう一度、勘平へ行つてきます。

中山間地と平場の人と一緒に



吉川区川谷地区の運動会と法政米米クラブの結祭が30日、旧川谷小学校体育館で行われました。

このうち結祭は、毎年、趣向を凝らしたプログラムが組まれ、楽しい行事になっています。今回は吉川商工会青年部のみなさんが木やりを歌い、頸北地域でがんばる鼓舞衆などの太鼓集団が体育館のスペースいっぱいを使った演奏で盛り上げました。

このほか、地域おこし協力隊の石川盛和さんの出身地、鶴町在住の黒田光広さん（写真右下）が見事な歌声を披露してくれました。文部省唱歌「ふるさと」のほか、「巡恋歌」、「アナと雪の女王」「北国の春」などカバー曲を歌ってくれました。「北国の春」では石谷のYさんが飛び出して、一緒に歌いました。

結い祭、主催者側の法政大学米米クラブのみなさんも珍しい人形劇を披露してくれました。劇は「大きなカブ」です。この児童文

学を選んだ理由は、中山間地域のいいところは「助け合い」にあるからだといえます。

今回の結祭は、中山間地と平場の人と一緒に楽しむイベントになりました。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月27日(水)	9月3日(水)
上越南消防署	0.036	0.033
上越北消防署	0.053	0.047
新井消防署	0.046	0.040
頸南消防署	0.040	0.056
頸北消防署	0.047	0.043
東頸消防署	0.056	0.050
高士分遣所	0.057	0.050
名立分遣所	0.046	0.050